

# 流域治水クイズ

みんなはどれくらい知ってるかな？ 答え は下にあるよ！



長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ

## 身近な流域治水の取組を学ぼう！

**初級編①** Q. 身近にある田んぼも雨水をためることに活用できるよ。このような田んぼをなんていうでしょう？



**ヒント**  
田んぼには大雨の際、雨水を一時的にためて、水路から水があふれないようにする働きがあるんだよ。

**グループワーク**  
【考えよう】どうやって雨水を調節するの？  
田んぼの水は水路を通して川に流れこむよね。どうやって調節するのか、みんなで話し合ってみよう。

**初級編②** Q. 家で雨水をためる方法はなんだろう？



**ヒント**  
屋根に降った雨を一時的にためることで、水路や側溝などへ流れ出る量を減らすことができるんだよ。

**グループワーク**  
【考えよう】日常で役立つ活用例は？  
たまった雨水は、普段の生活でも活用できます。どんなことに活用できるかな？みんなで話し合ってみよう。



**中級編** Q. 学校が緊急時には雨水をためる場所になる。どこだろう？



**ヒント**  
いつも遊んでいるあの場所が？！  
学校の中で一番広い場所を考えてみよう。

**グループワーク**  
【考えよう】他にも身近な場所に雨水をためたり、川に流れる水の量を抑えたりする対策があるよ。中面のマップでみんなで考えよう！

**上級編** Q. 長野県内のすべての家に雨水タンクが設置されると25mプール何杯分の雨水をためられるでしょう？



次のうちどれでしょう  
A.15杯 B.125杯 C.280杯  
※タンク200リットル・世帯数83万5000世帯・25mプール(25m×16m×1.5m)で計算しよう。

### わたしたちにできること

**【発表しよう】**  
自分や仲間、おうちの方と一緒にできる「流域治水」について、意見を発表しよう！



流域治水学習動画まとめ

お父さん、お母さんとも一緒に見てみよう！



本編(20分)



資料編(16分)



★動画には洪水などの映像が含まれます。ご注意ください。

**①長野県河川砂防情報ステーション**  
県内全域の雨量・水位状況・土砂災害危険度を確認できる総合的サイトです。雨が降り始めたら、早めに避難できるように確認しましょう。



**②ハザードマップポータルサイト**  
国土交通省が運営する「ハザードマップポータルサイト」。雨が降る前に事前に確認できるから、万が一に備えることができます。



**③川の水位情報**  
川の水位情報では水位の他に河川監視カメラの映像も確認することができます。大雨時の河川に近づくことは危険なので近寄らないようにしましょう。



**④信州防災アプリ**  
「マイ・タイムライン」の作成や、スマートフォンの位置情報に応じて避難情報をお知らせする機能がある「信州防災アプリ」を配信中！ご活用ください。



答え 初級編①: 田んぼ ②: 雨水タンク / 初級編③: 校庭 / 中級編④: 校庭 / 上級編⑤: 校庭



考えよう、あなたと家族の大切な命を守るために  
**長野県建設部河川課**

〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下 692-2 TEL.026-235-7310

このマークが長野県の「流域治水プロジェクト」の目印です。

みんなでとりくむ「流域治水」  
**治水ONE NAGANO**

なが  
**流す**  
川の流れをよくする！

そな  
**備える**  
川の水があふれたらどうする？

みんなで学ぼう！  
私たちの

# 流域治水

とど  
**留める**  
水をためて川に流れる量をおさえよう！



長野県PRキャラクター「アルクマ」  
©長野県アルクマ

長野県

# みんなで学ぼう！ わたしたちの流域治水



私たちが暮らす川の周りには、流域治水に関する様々な取組みがあるんだよ。どのように地域の被害対策に役立っているのか、みんなで調べてみよう！

## まずはじめに！

「流域治水」って何だろう？  
まずはここから勉強してみよう！



※QRコードの動画は全てYouTubeでの再生となります。

**留める**  
森林整備・治山対策  
雨水をたくわえてくれる自然のダム、森林。この森林をきれいに整備しておくことで、山でたくわえてもらう水の量を確保するんだ。

**留める**  
利水ダムの活用  
発電やかんがい用など、水を利用するためにつくられたダムを、洪水を防ぐためにも活かそうという取組みをしているんだよ。

**備える**  
水位計・監視カメラ  
川の水位の上昇を確認する水位計や、監視カメラがあるよ。わたしたちの周りの川にもついているかな？探してみよう。

**留める**  
遊水地整備  
大雨が降った時に、一旦川の水を留めて一度に流れる量を調節できるよ。普段は公園として利用したり、畑を作ったり活用することもあるよ。

**留める**  
治水ダム建設・再生  
洪水を防止するために作られているよ。大雨が降った時は川から水があふれないように水の量を調節して下流の地域に被害が起こらないようにする役割があるよ。

**留める**  
田んぼダム(水田貯留)  
水田がたくわえた水をゆっくり流すことで川に流れる水の量を抑える働きがあるよ。

**留める**  
ため池の活用  
農業用水を確保するために水をたくわえている池。このため池に雨水をためることもできるんだ。

**流す**  
バックウォーター対策  
支流と本流が集まる場所で水の大渋滞が起こり、水が逆流してあふれることを防ぐんだ。

**留める**  
雨水貯留の施設の整備  
公園やマンションなどの地下などに貯水場所を設置しているんだよ。

**備える**  
リスクの低い高台の地域  
大雨が降ったときなどもしもの時は、高台にある地域への避難も普段から考えておこう。

**か せん く い き**  
河川区域

**流す**  
堤防整備・強化  
堤防を作って洪水を防いだり、堤防を守るために石をつんだりブロックを置いたりするよ。川の周辺の木々を事前に整備し、倒木など川があふれる原因をつくらないことにもつながるよ。

**留める**  
雨水貯留タンク  
家の屋根からの雨水を留めることで川へ流れる量を抑えられるよ。

**流す**  
河道拡幅  
水が流れる量を増やすために川の幅を広げる作業をしているよ。

**か どう く さ く**  
河道掘削  
川の中を掘って水が流れる量を増やす作業をしているよ。

**留める**  
学校の貯留対策  
学校の校庭などに貯水することもできるんだ。実際にどんな風に活用するのかな？動画をみてみよう。

リスクの高い地域

リスクの低い地域へ避難

★動画には洪水などの映像が含まれます。ご注意ください。

## 「流域治水とは？」

最近の気候変動によって、私たちは今までの想定を超える水害にあう可能性が全国で高まっています。これまでの水害対策は河川の管理者が中心となって行われてきましたが、「流域治水」とは、行政だけでなく、川とともに暮らす地域住民や企業、関係者とともに協力し、流域全体で「水害に強い地域づくり」をしようという考え方です。長野県に住む人はみんな川の流域に暮らしています。私たちの流域治水です。自然にはかなわない。だからこそ私たちの川を含む地域の環境を守りながら、「どうすれば災害を減らせるのか、普段からやれることは何か？」が大切です。「流す」「留める」「備える」この3つの柱に沿って、みんなで一緒に考えていきましょう！

## 01 流域治水 流す

川の流れをよくするために堤防や護岸を整備し、しっかりと水が流れる仕組みを作ることが大切だよ。どんな取組みがあるか調べてみよう！

### 河川整備の取組み

- 堤防・護岸整備 堤防を作って川があふれるのを防いだり、堤防を守るために、石をつんだりブロックを置いたりするよ。
- 河道拡幅 川岸の土砂を取り除いて川の幅を広げるよ。
- 河道掘削 川の中を掘って、川を深くすること。どちらも流せる水の量を増やし洪水を防ぐんだ。



## 02 流域治水 留める

水を一時的に留めておくことで、川へ一度に流れる量をおさえたり、ゆっくり流したりして川の水があふれるまでの時間をかせぐことにもつながる。どんなところに留める取組みがあるか知っておこう！

- ・お家への貯水タンクの設置
- ・学校の校庭やマンション、公共施設の地下などを利用した雨水貯留施設を設置
- ・田んぼやため池を活用した雨水をためる取組み
- ・森林の整備により水をたくわえる取組みなど



## 03 流域治水 備える

川があふれることを想定して、どのタイミングまでどのような行動を取るべきかな？信州防災アプリをダウンロードするなど、避難計画・マイタイムラインに役立てよう！

- ・危機管理型水位計 簡易型河川監視カメラの設置
- ・浸水想定区域の地図の作成
- ・地域特性に配慮した防災マップの作成
- ・信州防災アプリの普及



QRコードから動画をみて、驚いたこと、気づいたことを発表しよう！